

集会案内

日曜日

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「ヘブライの宝物」

先日、在米のランデルマン真樹氏から、『ヘブライの宝もの』（いのちのこ
とば社、二〇二一）が送られてきた。彼女はヘブライ大学で聖書の原語ヘブ
ライ語を学び、実に平易に紐解いている。ご両親は旭川福音教会の牧師であ
った。

イスラエルの国歌は、「ハ・テイクヴァ」という歌で、希望という意味があ
る。実はこの、「ハ・テイクヴァ」という言葉はヨシユア記で初めて使われた。
ヨシユアはエリコを攻略するために二人のスパイを遣わした。そこで彼らは
その町の遊女ラハブの家に来たのだが、それがエリコの王に知れた。王は人
を遣わし、彼女にスパイを出せと命じたが、ラハブは彼らは確かにここに来
たのだが、夕方頃には出て行つたと嘘の証言をし、夜になると二人を城壁か
らつり降ろして逃がした。その際、彼女は「わたしがあなたがたを親切に扱っ
たように、あなたがたも、わたしの父の家を親切に扱われることをいま主をさ
して誓い、確かなしるしを下さい」（二・12）と訴えた。なぜなら彼女はイ
スラエルの紅海渡渉と一連の出来事を伝え聞き、彼らの神が天地を支配して
おられ、やがてエリコが攻略されることを知つたからだった。そこでスパイ
たちは、「われわれがこの地に討ち入る時、わたしたちをつりおろした窓に、
この赤い糸のひもを結びつけ」（二・18）るよう命じた。そうすればそれが
目印となって、その家に住む者たちを助けると約束したのである。そしてラ
ハブは赤いひもを窓に結んだ。実はこの赤い「ひも」を意味する言葉がティ
クヴァであり、このひものゆえに彼女の家族関係者は救われたのである。

一方、これは「過ぎ越し」の出来事とも重なっている。イスラエルの民がエ
ジプトを出る時、彼らを奴隷として扱ってきたエジプトに神の最後の裁きが
下り、家の門と鴨居に子羊の血が塗つてある家は裁きの天使が過ぎ越し、そ
うでない家は王家であろうと奴隷の家であろうと、その家の長子の命が絶た
れた。血が救いを左右するからであった。

ラハブは赤いひもを窓に結び付けることで救われたが、それは「過ぎ越し」
を意味している。赤は血を象徴し、新約の時代における主イエスの十字架の
血を指し示している。主の血潮こそがすべての人を死から救うのであり、こ
こに私たちの「希望」がある。その赤いひもをあなたも、あなたの心に結び付
けてはみませんか？

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集會を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。